

講演会

演題 「新学習指導要領における国語科の指導と評価について」

講師 今村 久二 先生（国語教育学会小学校部会長 東京都小学校国語研究会顧問）
元秀明大学教授 著書「小学校の読書・好きになる漢字・ことば」

謝辞

ご紹介いただきました 松戸市立新松戸西小学校 吉田です。
大変に僭越ではありますが、ご指名をいただき一言お礼を申し上げます。

今村先生、本日はご多用のところ、また、オミクロン株の感染が進んでいるところでしたが、誠に素晴らしい講演をしていただき、ありがとうございました。

先生には、学習指導要領の改訂と新しい国語科の役割からお話しいただき、「国語は言葉による見方・考え方を働かせて吟味し、それを成長させる教科である。」とご教授いただきました。

また、道徳と国語はどう違うのか？学習の目的の理解・振り返りは指導事項に記載されていないが、先生が主体的・対話的に行わなければならない。というところは、日常授業の中で疑問を持っている我々にお答えいただいたようでとてもスッキリいたしました。

国語科は大切な基幹教科であります。より一層、評価と指導の一体化へ進むように研修を深めたいとの思いを強くいたしました。

大変に簡単ですが、今村先生の益々のご発展とご健康を祈念しますとともに、
本日のお礼とさせていただきます。
本日はありがとうございました。